

法政大学国文学会会則

雑誌名	日本文學誌要
巻	51
ページ	134-134
発行年	1995-03-24
URL	http://hdl.handle.net/10114/00019813

法政大学国文学会会則

一九九五年現在

第一章 名 称

第一条 本会は法政大学国文学会と称する。

第二章 目的および事業

第二条 本会は法政大学における日本文学研究の伝統を継承し、科学的創造的日本文学研究を推進することを目的とし、あわせて会員相互の親睦をはかる。

第三条 本会は前条の目的を達成するため左の事業を行う。

- (一) 研究会、講演会、親睦会の開催。
- (二) 機関誌その他の発行。
- (三) 他の学会、研究団体との成果の交換。
- (四) その他右の目的にそう事業。

第三章 会 員

第四条 本会は左の会員によって構成される

- (一) 法政大学文学部日本文学科の現教員、および前専任教員。
- (二) 法政大学文学部第一部第二部日本文学科在学生および卒業生(旧制を含む)。
- (三) 法政大学大学院人文科学研究科日本文学専攻在学生および卒業生。
- (四) 法政大学通信教育部文学部日本文学科在学生および卒業生、また高等師範部国漢科卒業生で、入会を希望するもの。
- (五) その他評議会において推せんされたもの。

第四章 役員および機関ならびに会議

第五条 本会に左の役員をおく。

- (一) 会長 一名 会長は会を代表し、総会、評議員会および委員会を招集し、これを主宰する。
- (二) 評議員 若干名 評議員は会長の諮問に応じ会務の重要事務を審議する。
- (三) 委員 若干名 委員は会務の企画、立案、執行にあたる。

(四) 常任委員 若干名 常任委員は日常の会務処理にあたる。

(五) 会計監査委員 二名

第六条 会長は日本文学科主任教授がこれにあたる。評議員は日本文学科専任教員がこれにあたる。委員および会計監査委員は総会において選出する。

常任委員は委員が互選する。

会長を除く役員の任期は一年とし、重任をさまたげない。

第七条 総会は本会の最高議決機関であり、毎年一回開催する。ただし評議員または委員過半数の要請がある場合には、会長は臨時総会を開かねばならない。

評議員会、委員会は必要に応じて開く。ただし構成員の過半数の要請がある場合には会長は評議員会または委員会を開かねばならない。

第五章 会 計

第八条 本会の会費は在学生は年額千五百円とし、卒業生は年額三千円とし入会金を千円とする。

第九条 本会の会計年度は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終る。